

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きかん車		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和6年 1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人の課題やニーズに合った計画を立てることができている	療育中の様子や保護者からの報告を聞いて、タイミングを見てアセスメントを行なっている	集団活動が苦手な児童にも集団活動に入れるような活動プログラムを提供できるよう工夫していく
2	言語聴覚士、臨床心理士といった専門職による支援が行える	いろいろな職員が関わることで、児童の状態を複数の視点でとらえ、共有することができる	研修や情報収集、検討会議等を重ねていき、更に新しいプログラムを取り入れていく
3	保護者による送迎なので、療育中の様子や最近の課題などを保護者と話して連携を取ることができる	職員間でこまめに情報交換を行い、相談、連携ができるようにしている	今後も保護者との連携や多職種連携を続け、よりよい支援につながるよう取り組む

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時対応マニュアル等、各種マニュアルはあり、従業者には周知出来ているが、利用者や保護者への周知が徹底できていない	マニュアルは情報量が多く、実際に対応する際に、スムーズではない可能性がある	手順を分かりやすくしたフローチャートを作り、従業者も保護者もすぐに確認できるようにする
2	男性従業者が1名しかおらず、同性介助が難しい場面もある	求人に対して男性の応募があまりない	保護者に理解を求めるとともに、男性従業者の獲得に努める
3	地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わりが少ない	イベント等で公共施設や公共交通機関を利用する際に地域との交流が図れているが、保護者のニーズも少なく、積極的な交流があるわけではない	公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。